令和７年５月２６日

# ウォーカブルなまちづくりの活動 提案書

| | |
|---|---|
| 活動名 | 千代田区キャンパスコンソ「神保町ワクワク魅力新発見2025」 |
| 提案者名 | 千代田区内近接大学の高等教育連携強化コンソーシアム<br>（千代田区キャンパスコンソ）<br>※大妻女子大学・大妻女子大学短期大学部、共立女子大学・共立女子短期大学、専修大学、東京家政学院大学、二松学舎大学、法政大学 |
| 提案者の所在地 | 千代田区富士見2-17-1（法政大学） |

〇開催時期：
令和７年１０月～１２月（予定）　※この期間のうちの１日を想定

〇活動場所：
①特別区道千第３５４号　※下記②の北側道路
②専修大学神田キャンパス１０号館屋外スペース

〇目的：
大学と隣接した道路空間を拠点に、千代田区キャンパスコンソの知的資源を活用・提供し、学生目線によるイベントの実施などを通して、街に住む・行き交う人々と学生との間で、顔の見える交流ができる空間を創出するとともに、地域コミュニティの活性化にも貢献することを目指します。
この取り組みには千代田区キャンパスコンソの大学生・短期大学生（留学生含む）が参画する仕組みを設けます。参加学生に対しては、イベントの企画・運営を通してキャンパスが立地する千代田区の魅力を知り、大学-地域間連携の様々な取り組みへの継続的関与を促すきっかけづくりとなることを目指します。

〇活動内容：
イベントは、昨年度（令和６年度）千代田区公募「プレイスメイキング等の実証実験」事業に採択され実施した内容や参加者アンケートでの回答等を踏まえ、学生企画を中心に新たな取り組みを行います。
加えて、今回は、専修大学神田キャンパス１０号館１階の「SENDAI-Kaffee」との連携のもと、カフェの効用・機能を有効に活用し、より質の高い、滞留しやすい空間の創出（QOLの向上）を目指します。

具体的な個別イベントとしては、例えば以下のような内容を行います。
※構想・検討中のものを含みます。今後新たに追加する可能性があります。具体的な内容は採択後に学生参画のもと検討を進め、確定させます。

＜イベント・空間案＞
①各大学の教員などによる千代田区に関連する講演（青空講義）

②読書エリア（カフェスペースの併設など）
※④で持ち寄られた本等の提供も想定（選書イベントなども想定）。
③SENDAI-Kaffeeとの連携のもと、ワークショップ等を実施
④SDGsお譲り交換会（洋服・子供服・おもちゃ・本など）
※各大学のSDGsに関する取り組みも紹介。
⑤路上アートコーナー（ろう石・チョークで路上にお絵かき）
⑥学生企画（神保町×カフェ文化×学生の発信など）
※区の「ウォーカブルなまちづくり」や大学連携・地域連携に関心を持つ大学生・短期大学生（留学生含む）を募り、イベントの企画から運営まで「学生企画」として実施します。

【開催までのスケジュールを記載してください。（企画の検討や周囲との合意形成等の準備期間を踏まえて）】

６月採択後　千代田区キャンパスコンソ運営委員会にて企画検討
学生企画プロジェクト　参加学生募集開始・企画検討（８月末までに検討）
７～８月　道路申請関係手続き及び活動場所近隣者との調整
８月　広報開始、イベント当日準備、
10月～12月（土曜日1日想定）　イベント実施

【今回の活動を行いたいと思った理由を記載してください。（地域の課題やそれに対する解決策、まちに対する思い等を踏まえて）】

千代田区キャンパスコンソは、中長期計画（第2期）における目標の一つとして「大学と千代田区（関係団体等を含む）との連携の推進」を掲げており、具体的な課題として「地域コミュニティの活性化」を掲げています。大学の資源を活用・提供し、地域コミュニティ活性化に資する事業を実施・参画することで、課題解決を目指しています。本活動は、その一環で行うものです。

加えて、区内にキャンパスを有する大学・短期大学として、所属学生に、キャンパスが所在する千代田区の課題や歴史・文化等地域資源を理解してもらうことを重要なテーマとしています。前述した昨年度実施事業（プレイスメイキング等の実証実験）において、企画・運営参加学生に実施した事後アンケート（回答数31人）では、74.2%の学生が「地域（千代田区又は神保町）の特徴や良いところを知ることができた」と回答しており、事業目的に沿う効果が認められました。今回の活動を通じ、学生に、地域を知り、地域の課題解決を考える機会の創出を目指します。

これらを通じ、千代田区に立地する大学・短期大学として、大学ならではの機能・資源の提供により、千代田区におけるウォーカブルなまちづくり実現への寄与を目指します。

【今回提案する活動の実施体制や役割分担、収支予定について記載してください。】

〇実施体制・各主体や団体内の役割分担

実施主体：千代田区キャンパスコンソ（６大学・２短期大学）

※千代田区キャンパスコンソ運営委員会で検討・実施

※このほかイベント単位で協力企業等と連携することを想定

〇収支予定

支出　300千円（イベント企画運営経費）

※物品費（消耗品、什器・備品）、運搬費、講演者謝礼金、印刷費　他

収入　300千円　千代田区助成金（採択による）

【今回の活動後、継続的な活動を検討されている場合はそちらも記載してください。】

前述のとおり、千代田区キャンパスコンソでは、地域コミュニティの活性化に向け、様々な取り組みを推進しています。今後もそれらの活動を通じ、ウォーカブルなまちづくりの実現への寄与を目指すとともに、次年度以降も本事業の募集が行われる場合は、今回参加学生も基盤に、申請を目指します。また、本活動を通じて得た知見・ノウハウ等は、コンソの他の取り組みにも反映してまいります。

［参考］千代田区キャンパスコンソ「2024年度事業実施内容とその評価」
https://chiyoda-consortium.jp/application/files/5917/4722/3618/2024jigyojisshinaiyo.pdf

【今回提案する活動のポイントを記載してください。】

① 区内の６大学・２短期大学及びその学生が参画します。

② 大学の特色や学生目線を取り入れ、「知的好奇心」や「学び」に訴求した魅力ある滞留空間を創ります。

③ 学生が区内の魅力や課題を考え、自ら実践的に学ぶことで、学生の成長につなげる機会にします。

本活動に採択された場合、実施するにあたって下記に同意していただく必要がございます。同意いただける場合は、各項目の□にチェックを付けてください。（同意いただけない場合は、採択いたしかねますのでご了承ください。）

☑募集要項に記載の「３ 応募資格」および「４ 活動の要件」を満たしていること
☑採択後に本活動の趣旨に明らかに適していないと区が判断した場合は、活動の支援を取りやめる可能性があること
☑今後のさらなるウォーカブルなまちづくりの推進に向けて、提案書や活動報告書等については千代田区のホームページ等にて公開するため、了承の上作成すること
☑今回の活動を機に、その後の活動の支援を確約できるものではないこと

※上記に加え、企画書や説明動画などの補足資料を添付していただいても構いません。